

シベリア抑留では、過酷な環境下でも労働と労働の合間の休息时间や現地ソ連の人々との交流時には、緊張感や不安感から解放され、心が休まる瞬間があったことはあまり知られていません。

当館が収蔵する回想記録画の中で最多の 242 点の作者である吉田勇氏の記録画には、そうした心休まる場面を描いた作品もあります。

吉田氏誕生 100 年にあたる本年、人が生きる上で精神的支えや安寧がとても大切であることが収蔵絵画を通じてお伝えできればと思います。



◀ 昼食のご馳走 (1985 年制作)

▼ 左官作業 (1985 年制作)



作者 吉田勇氏 略歴

大正 12 年 (1923) 奈良県大和高田市生まれ
 昭和 19 年 (1944) 現役入隊後、満洲へ
 昭和 20 年 (1945) 終戦後、ヴォロシーロフ
 (現 ウスリースク) などに抑留
 昭和 22 年 (1947) 7 月 舞鶴に帰還
 平成 12 年 (2000) 6 月 逝去 76 歳

休館日：毎週水曜日(祝日の場合、その翌平日)
 年末年始 12 月 29 日～1 月 1 日

入館料

	一般	学生
個人	400 円 (200 円)	150 円 (75 円)
団体	300 円 (150 円)	100 円 (50 円)
共通券	600 円 (300 円)	200 円 (100 円)

【共通券】 舞鶴引揚記念館・赤れんが博物館にご入館いただけます。

【割引制度】 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方は、受付でご呈示ください。入館料が半額(料金表の()内の金額)になります。

会場：舞鶴引揚記念館 企画絵画展示室

開館時間：午前 9 時～午後 5 時まで
 (最終入館は午後 4 時 30 分まで)

〒625-0133

京都府舞鶴市字平 1584 番地 引揚記念公園内

TEL：0773-68-0836

FAX：0773-68-0370

<https://m-hikiage-museum.jp>



舞鶴引揚記念館

MAIZURU REPATRIATION MEMORIAL MUSEUM